

講義名	研究演習Ⅱ				
講義コード	45425	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5 時限
担当教員	中山 一郎			ナンバリング・コード	SEN350
学部・学科				演習分野	
全学部・全学科（学部・学科は問いません）				中山一郎ゼミナール（キャリアカウンセリング）	
概要説明					
研究演習Ⅰの目的は、キャリアカウンセリングの理論や支援スキルを学び修得することをおして、これまで生きてきた人生を改めてふり振り返りながら自身の問題意識に気づき、最終的には研究演習Ⅱへとつながる研究課題（リサーチ・クエスチョン）を見出ししていきます。					
カウンセリングには「心理」を対象としたものと「キャリア」を対象としたものがあります。共にカウンセリングという支援スキルを駆使しての対人援助という行為は同じです。しかし「心理」の場合には個人の人格の変容や行動の大きな変化、または感情の変化などを目的としています。 「キャリア」の場合は明確に特定された生き方や働き方などのニーズや問題を扱う、解決するといったことが目的となります。					
研究演習Ⅰでは、「キャリア」を対象としたキャリアカウンセリングの理論や支援スキルの基本を学んでいきます。そこで学んだ理論や支援スキルを自身にも落とし込みながら自己を探索し、理解を深め、引いては問題意識の所在を発見・明確化し、最終的には研究課題（リサーチ・クエスチョン）の設定までをひとまずの目標とします（研究計画書を作成して発表）。					
研究演習Ⅰでは主として毎回、中山一郎『エピソードの就活』をテキストとして利用し、キャリアカウンセリングの理論や支援スキルについて学んでいきます。					
次いで研究演習Ⅱでは、研究演習Ⅰで設定した各個人で興味や関心のある研究課題（リサーチ・クエスチョン）に基づき、調査方法の基本を学び、①キャリアヒストリーコース（興味や関心のある人物へインタビューを行う）、②ファミリーヒストリコース（自分自身のルーツを探索する）、③ライフヒストリーコース（自分自身の人生を見つめ直す）の3コースから一つのコースを選択して研究活動を行っていきます。最終的には研究活動の経過発表や報告、プレゼンテーションなどをしてもらいます。					
※実践内容に関してはまだ未定ですが、ゼミとして社会創生プログラムや社会連携事業などにも積極的に参画していきたいと考えています。 ※キャリア支援課が主催するセミナーや説明会などにも積極的に参加していただきます。					
主な卒業論文のタイトル					
2019年度から研究演習Ⅰは担当していませんでしたが、2024年度から再開講しました。みなさんといっしょに中山ゼミを創っていきましょう。					
教員よりの要望					
「生き方」や「働き方」の正解がたった一つだけではないという「新しい時代」や「新しい社会」がやってきました。そのような中、皆さん一人ひとりが充実した大学生活を過ごし、さらには充実した生き方や働き方を表現していくためには、果たしてどのような知恵や知識、能力やスキル、姿勢や態度が必要なのでしょう。ゼミ活動をおして、皆さんの＜今＞や＜これから＞をいっしょに考えていきましょう。					
新しく友達をつくりたいと思っているひと、充実した大学生活を過ごしたいと思っているひと、大学生活を今いちどリセットとしてこれからがんばりたいと思っているひと、自分自身の進路や就職、自分自身の人生、生き方や働き方について裏面自に考えてみたいという人を歓迎します。					
このゼミ活動をおして、大学生活の軸となる勉学はもとより、クラブ・サークル活動やアルバイト、そして来るべき就職活動やビジネス活動の現場においても求められている知恵や知識、能力やスキル、姿勢や態度を身につけていってください。					
研究活動をおして、ひとりの人間として共に成長していきましょう。					
選考方法					
選考は「提出された書類」と「個別面接」で決定します。					

評価方法	
評価方法は、 ①研究（研究活動の経過発表や報告、プレゼンテーションなどの成果など） ②平常点（学習意欲や態度、グループ活動への協力、ゼミ活動への貢献、出席率など）	
教員英字氏名	
Nakayama Ichiro	研究室 研究棟 V 5413研究室
最終学歴	
大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻博士前期課程(人間科学修士)	
学位	
修士（人間科学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
研究活動 2025年現在： Ⅰキャリアカウンセリングの理論や支援スキルをおして自己のキャリアを見つめ直す Ⅱファミリーヒストリー（家系史・家族史）から自己のキャリアを捉え直す Ⅲ淡路島の歴史と民俗 社会活動： キャリアカフェ主宰（若者、フリーター、精神障がい者等のキャリア形成支援） 主な研究業績： (著書) 『イチロー先生のキャリア物語～知恵の一滴』（単著，ジュンク堂書店，2000） 『大卒フリーター問題を考える』（共著，ミネルヴァ書房，2005） 『キャリアカウンセラー養成講座 CDA登録対策テキスト6』（共著，日本マンパワー，2007） 『キャリアコンサルタント養成講座 CDA資格(キャリアカウンセラー)対応テキスト5』（共著，日本マンパワー，2016） 『エピソードの就活～キャリアカウンセラーが教える7つのステップ～』（単著，晃洋書房，2017） (研究ノート) 「士師業を目指す学生へのキャリア支援を考えるー薬剤師を事例としてー」流通科学大学論集 人文・社会・自然編 第29巻第2号（2017） (論文) 「読書を活用したキャリア形成の事例研究ー見えざる家督を承け継ぐー」流通科学大学高等教育センター紀集要 第2号(2017) 「こころに響く授業とはーキャリアデザイン科目の授業評価よりー」流通科学大学高等教育センター紀集要 第3号(2018)	
趣味・特技	
①趣味 サッカーワールドカップ観戦、猫（アビシニアンを飼っています）、喫茶店でのんびり過ごすこと（カフェではありません）、読書（文学書や歴史書や宗教書などを好んで読みます）、落語（推しは桂三葉） ②特技 特にはありません	
所属	
人間社会学部 人間健康学科	
所属学会	
日本ビジネス実務学会、日本家系図学会、淡路地方史研究会	
専門分野	
キャリア教育、キャリアカウンセリング、就職支援、インプロ（即興演劇）、職業指導、家系史学	
担当科目	
キャリア基礎論、キャリア実践論、オフキャンパスプログラムⅠ、オフキャンパスプログラムⅡ、キャリアビジネス論、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、教養特講Ⅰ（人間健康学科へのいざない）、基礎能力（新聞を読む）、基礎能力（コミュニケーションの基礎）	
備考	
ゼミはグループワークが基本となりますので、メンバー一人ひとりにはさまざまな「役割」や「担当」を担っていただくことになります。 “責任感が欠如している人”は、他のメンバーに多大な迷惑をかけることにもなりかねません。 ゼミを運営していく上での、最低のルールやマナーをきちんと理解し、協力していただけるという学生さんが選考における条件とします。	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり。 具体的な事例やケーススタディーを紹介します。	